

編輯局報情

週報

號日五十月十

昭和十一年十月十五日發
第三種郵便物認可
（同本報日發行）



防空時の食糧問題
翼賛壯年の發足
鐵道の七十年
モスクワ三國會談

「炭」生活必需品讀本（九）

五錢

262 號

露光量違いにより重複撮影

身命を君國に捧げ
永遠の大義に生き
た靖國の英靈に對
し、銃後一億、まさ
に恥づる所なきを
期せねばならぬ。

週報

第二六二號
十月十五日

防空時の食糧問題

農林省…二

翼賛壯年團の發足

大政翼賛會…六

鐵道IIの二七二一年

鐵道省…三

最近の大陸戰況…大本營陸軍報道部…六

支那方面艦隊戰況(九月也)

大本營海軍報道部…三

告 知 一 極 一 臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

臨時警備隊の編成

週報

十月四日(土)
 ▼皇軍 河内作戦第一期を完了
 戦果を發表(連發死傷二千五百七、捕虜二百八十、重傷機五十六、廢棄機十二、連射砲六、小銃二百八十六、手榴彈三千八百)
 十月七日(火)
 ▼獨逸 マリウポリ(アゾフ海北岸)占領を發表
 十月八日(水)
 ▼鮮米の第一回豫想收穫高(九月二十日現在)を發表(二千四百二十二万石、前年實收高比一割二分増)
 ▼アフリカ ニスタン中立を聲明(十月九日)
 ▼第十三回支那事變生存者及び

第四十一回(陸軍三十三)死者論
 功行賞の御沙汰あらせらる
 ▼中支軍長沙(湖南)作戦の綜合戰果を發表(連發死傷八万二千八百、捕虜八千三百、重傷機四十六、廢棄機八十三、連射砲五百三十二、小銃二万三千六百五十三、砲彈六万、銃彈八萬三千、佛印へ資源調査團を派遣と決定)
 ▼中立法改正に關する教書をルーズヴェルト大統領、議會に送達
 ▼獨逸 通商協定に調印(パナマ)にクイター勃發(十月十日)
 ▼上海方面軍 過去二ヶ年間の戦果を發表(連發死傷六千三百、連發死傷二万一千五百、捕虜二万七千九百、砲彈六千六百、手榴彈一千五百、小銃二万八千)
 ▼緊急食糧對策(九月二十六日閣議決定)の具體的施設を閣議で決定
 ▼本年度麥類實收高(北海道は推定)二千三百九十四万石(前年比二百九十三万石)

生活必需品讀本(六)

週報發刊五周年に際して

農林省…云

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

讀者へ…ご連絡を

身命を君國に捧げ
永遠の大義に生き
た靖國の英靈に對
し、銃後一億、まさ
に恥づる所なきを
期せねばならぬ。

週報

第二六二號
十月十五日

防空時の食糧問題

農林省：二

翼賛壯年團の發足

大政翼賛會：六

鐵道道の十七日十一年

鐵道省：三

最近の大陸戦況：大本營陸軍報道部：ス

支那方面艦隊戦況(九月)：大本營海軍報道部：三

告：知：板：一：臨時政府の取捨の實況、臨時政府の取捨の實況、臨時政府の取捨の實況

モスクワ三國會談とその成果

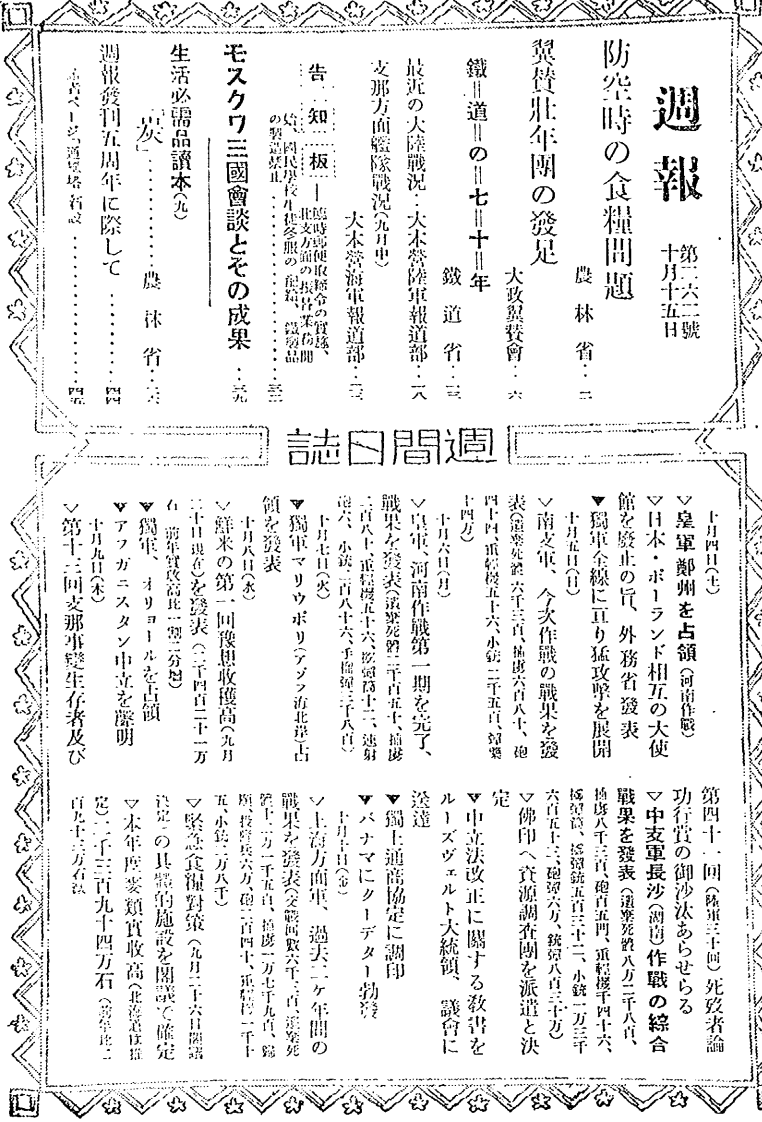
生活必需品讀本(九)

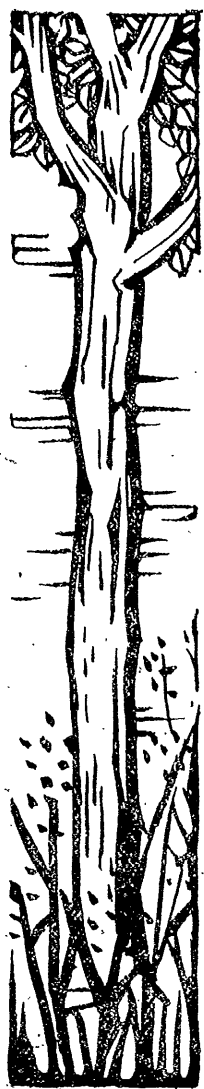
週報發刊五周年に際して

農林省：三
炭：一

週報目録

- 十月四日(七)
- 皇軍部州を占領(前報)
- 日本・ポーランド相互の大使館を閉鎖の旨、外務省發表
- 獨逸全線に亘り猛攻撃を展開(十月五日)
- 南支那、今次作戦の戦果を發表(連發報第八千二百六十八、重傷兵五千三百五十四、捕虜六百八十八、擧げ上四、重傷兵五十六、小銃二千五百、擧げ上四)
- 皇軍、河南作戦第一期を完了、戦果を發表(連發報第八千二百六十八、重傷兵五千三百五十四、捕虜六百八十八、擧げ上四、重傷兵五十六、手榴彈三千八百)
- 獨逸軍マリウポリラヂオ海北岸占領を發表(十月七日)
- 鮮米の第一回復讐收穫高(九月十日)を發表(三十四萬二千二百六十石)を發表(連發報第八千二百六十八、重傷兵五千三百五十四、捕虜六百八十八、擧げ上四、重傷兵五十六、手榴彈三千八百)
- 獨逸軍、オリコールを占領
- アフガニスタン中立を聲明(十月九日)
- 第十三回支那事變生存者及び
- 第四十一回(連發報第八千二百六十八)死傷者論功行賞の御沙汰あらせらる
- 中支重長沙(湖南)作戦の綜合戰果を發表(連發報第八千二百六十八、重傷兵五千三百五十四、捕虜六百八十八、擧げ上四、重傷兵五十六、手榴彈三千八百)
- 佛印へ資源調査團を派遣と決定
- 中立法改正に關する教書をルーズヴェルト大統領、議會に送達
- 獨逸通商協定に調印
- パナマにクーデター勃發(十月十五日)
- 上海方面軍、過去二ヶ年間の戦果を發表(連發報第八千二百六十八、重傷兵五千三百五十四、捕虜六百八十八、擧げ上四、重傷兵五十六、手榴彈三千八百)
- 緊急食糧對策(九月二十六日閣議決定)の具體的施設を閣議で確定
- 本年所要額實收高(連發報第八千二百六十八、重傷兵五千三百五十四、捕虜六百八十八、擧げ上四、重傷兵五十六、手榴彈三千八百)





防空時の食糧問題

農 林 省

いま、全国的に防空訓練が行はれておますが、この機会に空襲時の食糧問題について述べませう。
空襲時の食糧対策が、戦時下の食糧対策の一つとして重要な問題であることは申すまでもありません。農林省では本年六月以来、防衛總司令部をはじめ関係各廳と連絡の上、萬一の場合の食糧対策を樹て、既に着々と實行してゐますから、こゝにその大體を紹介することにいたします。

一番わかりよいのは、どの程度の準備を整へてゐるか、食糧準備の方法や、品目、數量、地域等を具體的に數字まであげて説明することですが、これは外國に對する關係上差控へねばなりません。従つて、話が少し抽象的になるかも知れませんが、だいたいの程度のことをやつてゐるかは、わかつていたゞけると思ひ

ます。

重要都市の米穀準備

空襲時の食糧対策として特に考慮せねばならぬのは、いふまでもなく都市、殊に空襲を受ける危険性の多い、いはゆる防空上の重要都市です。従つて東京、大阪等の六大都市を始め、全國數十の防空上の重要都市については、防空時の食糧として、米、乾パン、罐詰等を相當多量に準備貯藏させておます。

例へば米について東京市の例をいひますと、假りに空襲があつて鐵道や船舶等の交通機關が全く杜絶したとしても、食ふに困らぬだけの米を現にストックしてゐるのです。

しかし單に一ヶ所にストックしただけでは、その倉庫地帯を爆撃されれば、一朝にして烏有に歸す虞れがありますから、どうしても分散貯藏が必要です。また、いくらか倉庫の中に山と積まれてゐても、イザといふ時に、す

ぐ市民の手に渡るやうになつてゐなくては何にもなりません。

そこで、これらの米は、容易に運搬の出来る地域に、できるだけ分散して貯藏してあります。
更に空襲によつて動力が止り、精白ができなくなる場合のことも考慮して、數日分の米は精米として市内の各米穀配給所に貯藏させ、何時たりとも命令一下、直ちに配給できるやうになつてゐます。空襲といふやうな非常の際には、何も精白米でなくともいゝわけで、現に大震災の時には玄米で過した經驗を持つてゐますが、これだけの準備があれば、動力が止つても、精白米で十分やつてゆけるわけです。

現在の状況では、空襲といつてもロンドンや重慶のやうな連續の猛爆を受ける氣遣ひは絶對になく、交通機關の杜絶や、送電線の故障などは直ぐ復舊するものと考へられますから、これだけの準備が整つてゐれば、まづ米に關する限り絶對に大丈夫です。

罐詰その他の準備

空襲時には、まづ「握り飯と鹽さへあれば」ぐらゐの覺悟が必要で、贅澤は禁物ですが、副食物についても罐詰、冷凍魚等を準備してゐます。

罐詰についていへば、ご承知の通り、我が國で出来る罐詰は大部分輸出向で、國內向は極く一部分に過ぎなかつたのですが、英米の資産凍結以後は、罐詰類は原則として一切輸出や移出を禁止し、また國內への販賣も制限して、専ら非常時食糧として貯蔵されてゐます。更にその上に、輸出用の豆等を原料として防空用の罐詰を新たに多量に製造させてゐます。

現在貯蔵してゐる罐詰の種類はカニ、鮭、鰯、鯖、鰯等の水産罐詰をはじめ、果實、蔬菜類に至るまで多様な多様で、その数量は数字をあげると、きつとビックリされるほど莫大な量に上つてゐます。

勿論、この罐詰も分散して貯蔵し、米と同様に、命令一

下、適切な配給ができるやうにしておかねばなりません。第一期計畫として半ポンド入り罐詰一億数千万箇の分散は既に完了し、この分は、さしあたつては元卸、中卸、小卸といふやうな卸商に、責任保管人を指定して、分散保管させてゐます。

引續いて第二次、第三次、第四次、第五次と分散貯蔵計畫を實行してゆく手筈です。

以上のやうな應急準備のほか、先日の閣議で決定された緊急食糧對策によつて、米、麥、乾パン、乾麵の主食物から、罐詰、冷凍魚、馬鈴薯、玉葱、味噌、醬油等に至るまで、非常時食糧として分散貯蔵する恒久的な計畫が樹てられてゐます。

配給する人の問題

かやうに非常時の食糧對策は、現在既に萬全の準備が出来てゐるわけですが、更にこれらの食糧を配給する人

の問題も考へておかねばなりません。

勿論、これらの食糧は分散して貯蔵してありますので、イザといへば各家庭から歩いてでも取りにゆける距離にあるわけですが、更に萬全を期して、空襲下にあつて食糧配給の重點を認識し、身を挺して責任を果し得る人の養成にも努めてゐます。

即ち東京では、東京府米穀商業報國會で、現在米穀の配給に従事してゐる一万數千名の従業者の中から、十八歳以上二十五歳以下の男子で非常時の食糧配給に挺身する者二千五百名を選抜し、各警察署の管内毎に中隊を編成し、訓練を實施して有事の際に備へてゐます。また大阪でも、九月下旬、米穀商業組合と米穀運輸組合が共同して食糧國防團を組織し、今度の防空訓練でも、防衛司令部と大阪府廳の指導の下に非常時食糧配給の演習を行ふことになつてゐます。

その他の都市でも、東京や大阪に準じて、食糧國防團を組織して空襲時の食糧配給に不安のないやう、順次に

人的組織を整へてゆくことになつてゐます。

むすび

これだけの準備を整へてゐるのですから、一時傳へられたやうな食糧買溜めの無意味なこともわかつていたゞけると思ひます。

少し極端ないひ方ですが、いくら買溜めしでも、若し焼け出されて持つて逃げるとすれば、その持つて逃げる食糧の量といふものは恐らくいくらでもありません。それぐらゐの量は、いや贅澤さへ言はねば、絶対食ふに困らぬだけの量は政府で準備し、命令一下、配給できるだけの準備が整つてゐるのです。

つまらないデマに使かされて徒らに買溜をすること、現在の食糧の需給を混亂させるばかりか、結局腐らせたり、無駄に食へてしまふやうなことになります。備へあれば憂ひなし。防空時の食糧問題については、あわてずに、落ちついて政府の施策に信頼し、それぐらの立場で十分協力していただきたいのです。

翼賛壯年團の發足



昨年の秋、大政翼賛會が發足して以來、世界史上未曾有の大動亂の眞只中にあつて、高度國防國家體制を確立するため、國を擧げて萬民翼賛、一億一心、職分奉公の誠を致す大政翼賛運動は、着々とその巨歩を進めてゐます。

殊に、國運を擔ふ柱石であり、國家機能の中軸をなしてゐる青壯年層の翼賛意欲は、極めて熾烈であります。青壯年の意氣こそ國運を左右するものであり、國內體制の果敢な刷新も、國防體制の急速な強化も、青壯年層の立ち上る力に俟たなければ、決定的な成果を見ることは出来ません。時局はいよいよこの青壯年層の翼賛意欲の昂揚と、奉公活動の積極的な展開とを要請してゐます。

全国各地の實情を見ても、熾烈な翼賛態勢下にある青壯年の間に、自主的に統一ある組織を作り、それによつて積極的に強力な翼賛運動を展開しようとする氣運が昂まり、すでに十數府縣では、このやうな青壯年層の盛り上がる熱意を結實させるため、地方独自の創意と責任において、新しい青壯年の組織を結成し、翼賛運動の實踐部隊として活躍させてゐる所もあります。この趨勢は漸次全國に普及しようとする勢ひですから、このまゝにしておくと全國區々ものが出来上り、いろいろ不都合の點も出て來ますので、何とか中央で統一ある方針を指示してはどうかといふ要望が、次第に強くなつて來ました。そこで大政翼賛會では、關係各方面と協議した結果、

今度翼賛壯年團結成基本要綱とその組織方針を決定し、九月二十六日に全國支部組織部長會議を開いて打合せを行い、全國的にその指導助成に當ることになつたのです。

結成の目的

翼賛運動は一億國民の運動ですが、特に青壯年層はあらゆる領野に亘つて、國家機能を實際に分擔してゐるものですから、その翼賛意欲の強弱と翼賛活動の盛衰は、直ちに國防力の増減に甚大な影響を持つてゐます。しかもこの青壯年の運動は、これに熱意と理解を持つ者によつて行はれない限り、實際の効果があらぬことは、すでに幾多の經驗がこれを教へてゐます。

そこで、このやうな國民層のうちで特に翼賛意欲の旺盛なもの、翼賛運動の義勇軍として、鞏固な團結の下に激戦とした活動をさせることは、單に翼賛運動を一大飛躍させる絶好の方途であるばかりでなく、わが國の青壯年運動の調整と統一に一大光明を齎すものと考へら

れます。

そこで、翼賛運動に格別の熱意をもち、日常の生活上に既にそれを實踐してゐる青壯年を組織して翼賛壯年團を結成し、個々の力を集結昂揚すると共に規律ある統制の下に、同心團結、それ／＼の地域職域において、他に率先して臣民道の實踐躬行に挺身させ、臨戦態勢の整備強化に拍車をかけようとするのが、今度の翼賛壯年團の組織です。

従つてこの組織は、從來あつたやうな地域や職域乃至は年齢等の形式的な條件によつて、該當者全部を網羅する團體とは自ら異なるものであつて、翼賛壯年團は翼賛運動に率先挺身しようとする先驅者の結集體であり、翼賛選士とも稱すべき者の團結です。

團活動の内容

本團は何をするかといふことについて、その基本的なものは本團體組織結成の目的に照して、豫じめこれを示してをります。しかし本團は、たゞ上からの指令だけで動

くといふやうな、受動的な團體であつてはならないのであつて、地方團員の自發的な創意によつて、地方の實情に即した具體的なものを採り上げて活動すべきです。本團活動の基本的なものは概ね次ぎのやうなものです。

- 1 國民精神の昂揚
- 2 時局認識の徹底
- 3 興亜運動の推進
- 4 國策遂行への挺身
- 5 地域的職域的翼賛體制の促進強化
- 6 戦時生活體制の建設
- 7 國防思想の普及、銃後奉公活動の強化
- 8 その他翼賛奉公の實踐に必要な事項

名 稱

以上のやうな目的で組織された團體は、これを翼賛壯年團と呼ぶことにし、名稱を統一することによつて、全國の團員に同志的な血脈を通はせ、その志向を統一すること

性 格

一、翼賛壯年團は大政翼賛會の指導下に、その一翼として大政翼賛運動に邁進する組織たること

翼賛壯年團は、大政翼賛運動に直往邁進する實踐部隊ですから、翼賛運動の中核的な推進機關である大政翼賛會とは特に緊密な連絡を必要とします。このため本團は大政翼賛會の指導下にその一翼として翼賛運動を擔ふ外郭組織としました。

従つて本團の活動の方向とその内容は、大政翼賛會の採つてゐる根本方針に準據したものでなくてはなりません。大政翼賛會は政府諸機關と表裏一體となつて、青年の自發的な熱意を盛り上げつゝ、これを指導助成することになつてをります。

二、翼賛壯年團は團員の自發的な意志による同志組織たること
本團は、眞に身を挺して翼賛運動に率先邁進しようとする有志青年の集りであつて、いはゆる同志組織であり

ます。従つて、大政翼賛運動は一億國民の運動ではありませんが、本團の團員たる人は、眞に翼賛運動を身を以て實踐してゐることを衆人の前に示し得る、無私高潔な人士でなくてはなりません。従つて本團は、まづこのやうな同志・精銳を以て出發すべきであつて、低いもののために加減して調子を降ろすべきではなく、高いものに調子を合はせて潤達清新な活動をなすべきです。こゝに同志・精銳組織の妙諦があります。要するに、本團は大衆の先驅者、郷土の開拓者として、時代の高き政治理想に率先直往する實踐的團體です。

團 員

一、年 齡

加入する團員は、翼賛運動に挺身しようとする志をもつ二十一歳以上の男子青年です。年齢の上限は本團の性格に鑑み、一律に決めないことになつてゐます。しかし實踐力を主とする本團の使命からいつて、旺盛な實踐力を有する氣鋭の士が主體となるべきことはいふ迄も

ありません。二十一歳から二十五歳までの大日本青少年團員も本團に加入することが出来ます。

二、團員の銓衡規準

本團は翼賛選士ともいふべき、自他共に認める模範的人士の集りではなくてはなりませんから、單に申込みすれば誰でも入れるといふ放漫な團體であつてはなりません。本團を特に同志・精銳組織とした意圖の一つには、青年運動の本旨に鑑み、量よりも質を重視する必要があると感じたからです。そのためには格別に嚴正な銓衡を必要とします。その規準は概ね次ぎの通りです。

(イ) 思想信念ニ於テ團體ノ本義ニ徹シ苟モ衆人ノ疑惑ヲ受クルコトナキモノ

(ロ) 個人的 職業的團體的利害ニ因ハレルコトナク國家目的ノ達成ニ率先躬行スルモノ

(ハ) 口舌ノ徒ニ非ズシテ日常地域職域ニ於ケル實踐ヲ通ジテ他ニ垂範シ郷土ノ信望篤キモノ

但し政治團體加入者は、その活動によつて、往々にして本團の性格に紛れを生ずる虞れもありますので、加入

を差控へてもらふことになつてゐます。

在郷軍人會員は、有志が積極的に本團に加入することに在郷軍人會本部の方針も決定してゐます。思想團體加入者は、その團體本来の性格を逸脱した活動をせず、前記の思惟に適合してゐる限り入團して差支ありません。

團の編成

團の編成は、大政翼賛會の地方組織に合致させ、市區町村團を單位團とし、それを綜合して郡團、更に道府縣團を編成し、これを系統團體として指導者原理を基調として運営することになつてゐます。

單位團である市區町村團以下には、原則として分團班等は設けないことになつてゐますが、大都市その他特殊の事情がある場合には、特例として單位團以下の下部組織を持つことが出来ることになつてゐます。

團の綜合的な系統組織は、當分道府縣までに止め、團の中央組織は、道府縣團の整備情況に應じて別に考究することになつてゐます。團の中央組織も盛り上げる勢ひ

によつて速からず設置を見るものと思はれますが、それまでは差當り大政翼賛會がその役割も果たすことになつてゐます。

團幹部

本團の運営に當る道府縣團以下の各級の團の幹部については、本團結成の趣旨に則り大政翼賛會の指導下に立つと共に、特に盛り上げる青壯年の運動として眞に潑刺たる活動を展開できるやう深慮の考慮を拂ひました。徒らに勢力均衡の弊に陥ることなく、周到な用意と公正な手續によつて、廣く團員のうち時代の先達としてふさはしい新進氣鋭の士が、團の實質的な指導者となることを願つてゐます。

1. 大政翼賛會道府縣支部長は道府縣名譽團長とす
2. 道府縣名譽團長は團員中の適格者より道府縣團の團長副團長その他の役員を指名し、重要職務についてはこれを指示す
3. 道府縣團長は團を統率す

4. 郡團長以下の各級團役員は、團員中の適格者を以て之に當て道府縣團長之を指名す

各種團體との關係

翼賛壯年團と他の青壯年層を對象とする諸團體との關係について述べますと、本團の結成は必ずしも既存の各種青壯年團體をすべて解消せよといふ意圖を持つものではありませんが、しかしこれらの團體中、中央、地方を通じてその目的、性格などが本團と其の軌を一にするもの(例へば、大日本壯年團、壯年會、日本青年會、下部組織の重複と活動の混亂を防ぐために、積極的に参加合流を求めることになりました。

その他、職域を活動舞臺とする、いはゆる職域奉公推進團體とは、密接な連絡の下に提携協力してゆくことになりませんが、この場合もその團體員中の優秀な人々は本團に加入することになります。

團の經費

本團は有志による會員制度を採つてゐますから、團の

經費も團員から團費を徴収し、これを主要な収入とすることにしてあります。大政翼賛會からの補助金は單位團まではゆき兼ねると思ひます。その他は、勤勞奉仕とか團員の特別職出金とかの収入がいくらかはありませうが、一般からの寄附金は採るべきではありません。自發的な意志による團體である以上、團の經費も自分達で持ち寄るといふところに、眞の責任と自發性が生れるものと考へます。

結成手續

以上のやうな翼賛壯年團を結成するには、次ぎのやうな手續を進めます。

- 1 根本方針
(イ) カメテ官製的傾向ニ陥ルコトヲ避ケ專ラ青壯年ノ間ヨリ自發的ニ盛り上リタルモノヲラシムルコト
(ロ) 爲ニセントスル惡質分子ノ暗躍ヲ封ジ眞ニ翼賛運動ニ挺身セントスル正純ナル中堅青壯年ノ團結ヲラシムルコト
- 2 結成手續

以上の根本方針に則つて、大體次ぎのやうな結成手續が採られることになつてゐます。

- (イ) 道府縣團名譽團長タルベキ大政翼賛會道府縣支部長
- ハ、翼賛會關係者、官廳關係者、郷軍關係者、青壯年團體關係者、ソノ他民間有識者等ヲ以テ官民合同ノ翼賛壯年團結成準備委員會ヲ設ケ、道府縣内ノ組織方針並ニ各級團準則等ヲ決定シ、組織ノ指導促進ニ當ラシメルコト
- (ロ) 團結成ノ順序ハ、先ツ單位團ノ組織ヨリ着手シ、ソノノ整備ヲ俟ツテ上級團ノ結成ヲナスコト
- (ハ) 單位團ノ結成ニ當リテハ、道府縣翼賛壯年團結成準備委員會ノ指導ノ下ニ、市町村内ノ結成準備委員會(委員ノ構成ハ道府縣ニ準ズ)ヲ設ケ、特ニ委員中適當ナルモノヲ團員候補委員ニ委嘱シテ、加入團員ノ銓衡ニ當ラシメルコト
- (ニ) 單位團ニ於テ團員ノ銓衡ヲ終リタル時ハ、假役員ヲ選定シ、團員並ニ假役員ノ名簿ヲ道府縣名譽團長宛提出ノコト
- (ホ) 次イテ道府縣名譽團長ハ、道府縣團長以下ノ役員ヲ指名

シ、下級團ノ役員ノ指名ヲナサシムルコト
(一) 單位團ノ結成式ニ當リテハ、團員各自目録通判シテ同志結合ヲ盟ハシムルコト
(注意) 從來大日本壯年團聯盟參加ノ壯年團ノ如キモノニシテ、本團結成ノ基礎タルニ相應シキモノノ存在スル市町村ニ於テハ、ソノ組織ノ整備ヲ充分ニ活用スルコト

むすび

以上、今度發表された翼賛壯年團結成の基本要綱と組織方針の大略を説明しましたが、これが健全強力に發展するために、全國青壯年の誠心公の至誠と正統強固の同志意識とに負ふところが極めて大であります。本團の成否は、翼賛運動の將來に重大な關係をもつものであります。大政翼賛會は政府諸機關の協力を得て萬全の用意と不屈の覺悟とを以てその指導助成に當る所存です。

大政翼賛會



鐵道が開通するまで

文明開化の先驅者、富國強兵の基礎、經濟發展の利器、資源開發と國防の基本的要件などと、時の移り變りと共に形容される言葉も異つて來てゐますが、日本の鐵道は、この十月十四日で七十年を迎へました。十月十四日は、明治五年の當月當日(當時は太陰曆であつたから九月十二日)異くも明治天皇には新橋・

横濱間の鐵道開業式に臨御あらせられ、日本創始の鐵道を親しく開行し給うた日です。當日、横濱において中外衆應に對して左の勅語を賜りました。

東京横濱間ノ鐵道朕親ヲ開行ス自今此便利ニヨリ貿易愈繁昌庶民益富盛ニ至ランコト望ム

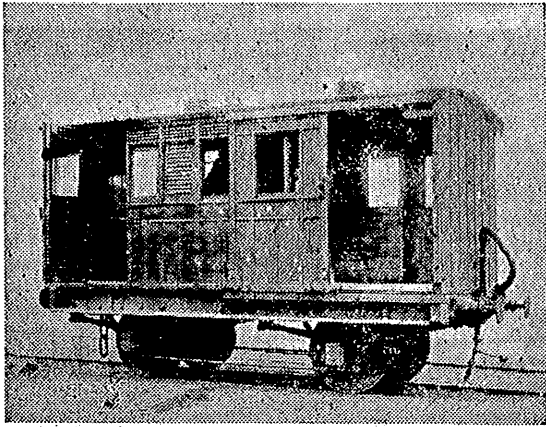
この新橋(現在の汐留驛)横濱(現在の櫻木町驛)間の鐵道は、僅かに二十九キロであつて、舶外國人の技術と英貨百万ポンドで建設され、汽車の運轉も、舶外國人の機關士が行つてゐました。今日、國有鐵道、地方鐵道、軌道、水川鐵道等を合せて、内地だけでも約三万キロに達し、優秀な鐵道技術を世界に誇つてゐるのに比べ、まことに開世の感があり

ます。

今、七十餘年前の情勢を顧みますと、當時は諸外國がわが國の開國に當つて利得しようとする争つてゐた時代ですから、鐵道の敷設にも各國はそれらの主張を申入れ、フランスは自分で敷設しようとする願ひ、アメリカは徳川幕府から敷設の免許を得てゐることを主張し、また、イギリスは國有國營でもつて建設すべきことを述べてゐます。この議論のやかましい中で、政府は日本の鐵道は國有國營で建設すべきことを決定し、明治三年三月二十五日(太陰曆)に汐留町から線路の測量に着手しました。これが日本の鐵道工事に着手しました。これが日本の鐵道工事に着手したと記録されてゐます。このやうにして約二ヶ年の工事の後、明治五年五月七日(太陰曆)品川・横濱間に假に汽車運輸を開業し、一日二往復の列車を運轉しました。それから約四ヶ月後に品川・新橋間が開通しましたので、異くも

明治天皇の臨御を仰ぎ、鐵道開業式が舉行されたのです。この日が即ち十月十四日(大陰曆九月十二日)です。

當時の列車回数は一日九往復で、午前八時から午後六時まで正午と午後一時を除き、毎時、新橋、横濱、兩駅から列車が出発し、五十三分後に反對側の驛に到達してあつた。運賃は上中下の三級に分れ、下等は三十七錢五(舊貨幣の分米の關係からこのやうな端數が出たのです)でした。今では旅客列車だけでなく、片道六十餘列車、これに電車、貨物列車を加へますと大變な數になり、所要時間も特急は約二十六分、普通列車で三十一、二分です。運賃は當時に比べて物價が非常に騰貴してあつますが、東京、横濱間は四十錢です。私達の先人達が國を擧げて文化の進展に盡して来たからこそ、私達は今日このやうな榮えある世にあふことが出来たわけ



客車と郵便合造車(右半分が郵便車)

です。私達は今、國を擧げて更に不斷の努力と精進を積み、幾十年かの後に、今

るやうに努めなければなりません。
統一ある經營で躍進

この七十年間の鐵道歴史の中での大きな事件は、何といつても明治三十九年三月、西園寺内閣の時、第二十三回帝國議會の最終日に鐵道國有法が成立し、直ちに御裁可を仰いで三月末日に公布になつたことです。明治十五年頃から私設鐵道が建設され始めました。當時は鐵道の國有國營等に關する政府の基本政策が必ずしも常に一貫してあなかつたので、政府の財政の都合もあり、民間資金の活用や鐵道企業家の利益の多いために、私設鐵道が盛んに建設されました。現在の山陽本線、東北本線、常磐線、關西本線は、かうした時代に建設された主な私設鐵道です。當時私設鐵道がどんなに多く建設されたかは

次の表を御覽下さい。

鐵道發達狀況

年 度	鐵道(全線)	計	指數
明治 元年	一〇三ナシ	一〇三	一〇〇
明治 五年	一八七ナシ	一八七	一八二
明治 十年	二八三ナシ	二八三	二七五
明治 十五年	三八七ナシ	三八七	三七五
明治 二十年	四八三ナシ	四八三	四六五
明治 二十五年	六八三ナシ	六八三	六六五
明治 三十年	八八三ナシ	八八三	八六五
明治 三十五年	一〇八三ナシ	一〇八三	一〇六五
明治 四十年	一二八三ナシ	一二八三	一二六五
明治 四十五年	一四八三ナシ	一四八三	一四六五
明治 五十年	一六八三ナシ	一六八三	一六六五
明治 五十五年	一八八三ナシ	一八八三	一八六五
明治 六十年	二〇八三ナシ	二〇八三	二〇六五
明治 六十五年	二二八三ナシ	二二八三	二二六五
明治 七十年	二四八三ナシ	二四八三	二四六五
明治 七十五年	二六八三ナシ	二六八三	二六六五
明治 八十年	二八八三ナシ	二八八三	二八六五
明治 八十五年	三〇八三ナシ	三〇八三	三〇六五
明治 九十年	三二八三ナシ	三二八三	三二六五
明治 九十五年	三四八三ナシ	三四八三	三四六五
明治 一〇〇年	三六八三ナシ	三六八三	三六六五

昭和十六年度(昭和十六年十月一日現在)ノ他八年度ノ末日現在

このやうに澤山な鐵道が建設され、個別々に經營されましたので、各鐵道相互間の連絡が不如意となり、利用するにも不便でしたし、車輛その他の材料を有効に使ふことも出来ませんでした。また政府としても、何處に鐵道を發達させた

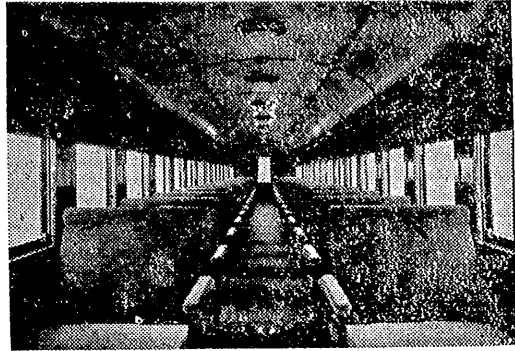
確固とした方針が定まつてゐませんでした。このやうな事情から、國を擧げて鐵道を一元的に經營し、また、鐵道敷設網を決定すべきだといふ議が内外に起り、明治二十五年に鐵道建設網を定めた鐵道敷設法が成立しました。なほ、鐵道國有の方針を決すべき法律は、この時には時期尚早といふので成立しませんでした。その後、日清、日露の兩役を経て、國內情勢も變遷し、明治三十九年になつて漸く鐵道國有の方針が確定しました。即ち、一般運送の用に供する鐵道は、總て國有とし、一地方の交通を目的とする鐵道は、この限りにあらずといふ原則が確立しました。自由主義經濟の華やかな時代に鐵道は國家によつて完全な統制計畫の下に經營されることになつたのです。事變下の今日、軍事輸送はいふまでもなく、生産力擴張や經濟統制に伴ふ著しい輸送量の増加を、僻村の寒暄から都市中央の

大停車場に至るまで、一個の指令の下に統一ある經營によつて、何等の齟齬もなく迅速に統制運用して、國防政治經濟その他諸般の國家的な要請に應へてゐるの

輸送量の激増振り

現在、國有鐵道は營業キロ一萬八千四百キロと三十六万人の従事員で、一年間に二十億人と一億五千万トンに近い物を輸送してゐます。昨年十月一日の國勢調査によりますと、内地人口は七千三百一十一万四千三百八十八人、面積は三十八万二千五百四十五平方キロです。人口一万人當りの營業キロ、一人當りの輸送回數や貨物輸送トン數、百平方キロ當りの營業キロ數を算出して、鐵道普及の状態と鐵道利用の度とを見るのも一興です。

新橋と横濱間開通の翌明治六年度は、



最新の客車内

一年間を通じて乗車人員は百四十万人餘でした。この人員は現在の國有鐵道の一日の乗車人員にも及ばず、東京市電の乗車人員の一日乗車程度です。また今日、驛頭には七十万トンの貨物が殺到して、半分か發送できないこともあります。か

うした輸送量の増加が事變勃發以來特に著しいことは、他の諸産業と同様です。一方、機關車、客貨車、改増工事用線路等の輸送増加に對應すべき設備の増加は、いろいろの制約を受けて到底輸送量の増加には及びません。しかも日本の國有鐵道は、他國に比べて、設備の利用効率を非常に高く擧げていますから、設備に餘力がありません。資材や工事力等の許す範圍で、驛の擴張とか線路の増設等、諸種の改良工事を行つて、輸送の行詰りを打開すべく努力してゐます。例へば、東京下關間千九十七キロを現在、特急富士は十八時間二十五分を要してゐますが、軌間を一・四三メートル（現在は一・〇六七メートル）に擴げ、線路の勾配や曲線を少くして、平均時速百十キロ、約九時間而走破する、いはゆる廣軌新幹線も計畫され、工事は着々と進んでゐます。

この大工事の豫算總額は五億五千六百万圓餘で、昭和二十九年には完成の豫定です。かうしていろいろと改良を行つてもなほいろいろな制限をしなければ、差當り必要な輸送を確保できません。先年來實施してゐる旅客貨物の輸送制限や、先般の總動員審議會で可決された陸運統制令の改正要綱は、この情勢裡にあつて、時局下に何としても確保すべき軍事輸送や生活必需品、生産用物資の輸送等を確保し、國防國家の運営がかりそめにも輸送力によつて支障されることのないやうに備へたものです。

共榮圈の確立は鐵道で

鐵道の勝敗はその輸送力にあるといはれてゐます。日露戰役にはロシアが遠路シベリア鐵道によつて滿洲の野に大軍を送り、あれ程の兵力を整備できたことは、シベリア鐵道の輸送管理が非常に良く行

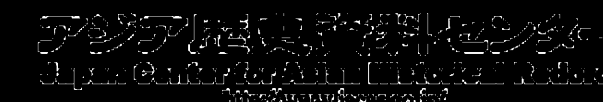
はれたからだといはれてゐます。前世界大戰でドイツは鐵道施設が荒廢した等のために、東西兩面作戰の軍事移動に非常に困難したと傳へられてゐます。平時の輸送に押れて一たび輸送統制が強化されたとき、輸送擔當者が徒らに茫然として國家活動に不慮の支障を來してはなりませんし、國民もまた濫りに騒然として生活を不要に無秩序にしてはなりません。鐵道を守る者も鐵道を利用する者も常に渾然一體となつて、事變下の輸送に對する心構へがなくてはなりません。七十餘年前には、外國人の手によつて計畫され測量され、そして工事され、また、外國人の機關士によつて運轉されて、日本人は機關士になることすら容易ではなかつたのでした。まして、機關車の組立とか設計などは及びもつかないことでした。その鐵道が、今日では機關車や客貨車一切の設計が優秀な日本人の

技師の手になり、一本の鉄までも日本で製作されてゐます。機關士については申すまでもありません。また、鐵道省工場の優秀な機關車の修繕能力は、斯界の驚異となつてゐます。滿洲國や華北、華中の鐵道が日本製の車輛を使用し、南方泰國の機關車の中で最も優秀として歡迎されてゐるものは、實に日本の機關車です。また、日本の車輛技師に對する信用も一入厚いと聞いてゐます。七十餘年前に外國人の手になつた新橋・横濱間二十九キロの日本の鐵道は、今や滿支を通じて印度洋にも到らうとしてゐます。まことに東亞共榮圈の確固たる建設は鐵道によつて實現されなければなりません。

鐵道省

主要國鐵道普及狀態圖(一九三八年度)
 國別 百万軒當 一万人當
 鐵道營業料 鐵道營業料
 獨 一〇・八 八・四
 伊 五・五 三・九
 英 一・二六 六・五

鐵道實況	米	佛
國有鐵道	四・八	二八・九
地方鐵道	七・八	一〇・二
軌道	〇・四	五・〇
計	一二・〇	四四・一
鐵道省所管外線	二・〇	一・〇
內地計	一四・〇	四五・一
國有鐵道	三〇・〇四五	〇・九
北鮮鐵道	四二・九三	〇・三
私設鐵道	一・五六五	九・〇
朝鮮計	八一・四〇	一・四〇
國有鐵道	六・一四二	七・〇
私設鐵道	九八・一	九・〇
計	一六四・二	一六・〇
國有鐵道	二・一七九	一・〇
私設鐵道	六二・一	三・〇
計	六四・三	四・〇
總計	三八・九八〇	三〇・〇



最近の大陸戦況

大本營陸軍報道部

18

敵の一般動向

敵軍は今年六月の末に第四期整訓を大體に終り、目下檢閲中とのことであるが、敵軍全般の動きとしては、相變らず消極守勢的で、何ら積極的に出る様様がない。蔣は「國際情勢の急迫化に伴ひ、日本軍は近い將來南か北に新しい戦争を企圖するであらう。その際は在支兵力をひき抜いて使ふであらう」といふ其合に情勢を判断し、日本軍の動きに對して非常に注意を拂つてをり、威力偵察武のこをやつてみたり、或ひは遊撃戰、謀略戰に努めてゐる。

しかし、敵軍の戦力が衰退の一途を辿つてゐることは、最近の各方面の戦闘の實績が證明してをり、經濟的の逼迫

と相俟つていよゝ深刻な苦況に陥つてゐることは、諸般の情報によつて明らかである。

大陸作戦の概況

支那事變滿四年を経過した今日と雖も、支那大陸における作戦は、今なほ頻繁に行はれてゐる。七月一ヶ月の間の數字をみても、北支方面は戦闘回数一千七百五十五回、交戦兵力約二十三万七千、敵の遺棄死體約八千五百、捕虜約二千六百、わが軍の戦死傷者約七百名である。中支方面では交戦回数五百四十回、交戦兵力七万五千、敵の遺棄死體四千四百七十一、捕虜二千四十一、わが軍の戦死傷者約五百名である。また南支方面では交戦回数二百七十六回、交戦兵力約四千、敵の遺棄死體八百六十五、捕虜百三十一、

わが方の戦死傷者約五十名である。これを總計すると、全支に亘る七月一ヶ月の交戦回数は、實に二千三百九十五回に上り、交戦敵兵力約三十一万六千、敵の遺棄死體一万三千八百四十九、捕虜五千百三十四、わが軍の戦死傷者千三百餘名といふ數字になる。これによつて現地將兵が如何に活躍してゐるか明らかであらう。

地上部隊の活躍と並行して、わが陸海軍飛行隊の活動もまた非常なものである。殊に奥地進取攻撃は、奥地主要都市の軍官民を情伏させ、重慶などは八月十七日間は完全に活動を停止せられた程である。敵の軍事諸施設、工廠、官衙等は相當の被害を蒙り、軍需、民需の生産額も著しく減少してゐる。

今、各方面の戦況について述べ、現地に活躍する將兵の勞苦を偲びたいと思ふ。

北支方面

魯蘇戦區、すなはち江蘇省北部地區では、去る七月二十日から八月二十四日に亘り鹽城作戦が行はれた。この地

方はその名の示す通り、鹽の産地として敵が重視するところであつたが、わが軍がこれを押へて以來、敵の韓德動軍はますます窮乏に瀕してゐる。一方この地區は、本年一月、この方面に徘徊する共產軍と國民黨軍の相剋磨擦により、しばしば戦闘をひき起してゐる。

山東省方面では、于學忠軍と阜陽方面にある沈鴻烈部隊とが反目しつゝあるが、一般に平穩である。

冀察戦區、すなはち山西河南の方面では、去る五月の中原作戦によつて敵の第一戦區衛立煌麾下の二十万が日本軍に徹底的に撃破されて以來、専ら黄河南岸の防備に力を注いでゐる。

西安を中心とする地區には、敵の第八戦區胡宗南軍がゐる。

蒙古後套地區には傳作儀軍が依然蟠居してゐる。

晋察冀地區、すなはち京漢線、石太線、蒙疆間の地區では、既に述べたやうに八月十四日以來、共產軍に對するわが軍の大掃蕩戦が、今なほ續けられてゐる。この作戦は軍に敵を掃蕩するに留まらず、徹底的に敵の巢窟を覆へし、

再び起つ能はざらしめるために行はれてゐるだけに、作戦は極めて地味であり、宿營休養の便が少しもない奥地で、山猿のやうな共産軍相手の戦闘であるため、参加將兵の勞苦は察するに餘りがある。

この作戦は九月四日までに敵部隊の剿滅を終り、以後は各地區別の掃蕩戦に移つてゐる。

九月十四日までに得た戦果は、敵の遺棄死體二千七百八十一、捕虜二千七百十、わが方の戦死約五十名である。

また九月中旬以來、中支湖南方面の作戦に呼應し、北支方面では新黄河渡河作戦が行はれた。敵の戦力は相當低下した模様で、わが軍の進撃は豫想以上に迅速に進展し、十月四日には鄭州を占領した。

中支方面

中支方面で敵の行動がやゝ活潑であつたのは、揚子江下流地區において、敵の第三戰區顧祝同の麾下部隊が、八月二十五日夜半から二十六日朝にかけ、わが軍の守備正

而、六十餘ヶ所に一齊に襲撃して來たことである。この反攻には一ヶ所に對し一ヶ營又は一ヶ連の兵力を向けた。これに策應して、わが占領地區内でも、既存の遊撃隊と便衣混成隊が蠢動したが、行動は極めて低調で、テロ事件二件、鐵道破壊二件に過ぎなかつた。

この敵の來襲に對し、わが軍はそれ／＼これを捕捉して撃破することに努め、その大半は既に二十六日朝までに撃退した。敵は二十七、二十八日も中諜的に小出撃を行つたが、忽ちわが軍に撃退され、二十九日には全線沈靜に歸してしまつた。わが軍は飛行部隊と協力の下に、進んでこの敵を攻撃してゐる。

この敵の來襲、いはゆる反攻は、敵が從來總反攻決行のため整備訓練しつゝあつた成果の如何を判定する有力な證據となつたが、つい先頃の浙東作戦のため相當の損害を受けてゐることもよろうが、重慶軍當局の下に統一的に整備訓練されてゐたものとしては、餘りにも低調であるといはなければならぬ。

なほ、先きに福州を占領した我が軍は、當面の情勢が緩

和したため、九月三日に自主的に撤退した。

武漢方面では、九月十八日から岳州南方で敵第九戰區薛岳麾下の兵力約四十万に對し、一大殲滅戦が行はれた。

岳州南側に集中したわが數ヶ師團は、九月十八日一齊に作戦行動を開始した。まづ新墻河の線に據る敵約十二、三ヶ大隊を撃退したわが軍は、汨水の線に向つて南進した。敵の一部第二十六軍は、わが軍の南進に對し通城方面からわが左側背を包圍する態勢をとらうとした。

これを察したわが最左翼兵團は、敵のこの包圍行動に對し、更にこれを包圍するの戦術に出たため、第二十六軍はわが完全包圍に陥り殲滅されることになつた。この間、他のわが兵團は各、正面の敵を捕捉して撃破してゐる。ために敵第四軍は潰滅し、第九十九軍は側方に退避し、第三十七軍は殲滅されることになつた。敵は長沙までに概ね四線の防禦陣地を構築してゐたが、わが軍の猛攻が急迫のため大なる抵抗を行へなかつた。かくて九月二十七日、わが早淵部隊は長沙に進出し、他の一兵團は更に敵を追撃して二十九日には株州に突入した。

この作戦に協力した海軍部隊は、鄱陽湖方面に行動し、敵を牽制した。

豊富な經驗による作戦計畫、軍隊の活動共に熟練の域に達したわが軍の今回の作戦は、當初の計畫より十日以上も早く成果を収めることが出來た。この作戦によつて敵の最精銳部隊と稱される第九戰區軍も、今日では皇軍に對しては大した抵抗力を保有してゐないことが明らかとなつた。敵に與へた損害は八万以上に及び、わが軍の尊い戦死者は約五百名であつた。

かやうに、わが軍は作戦目的を迅速に達成したので、十月一日反轉作戦に移り、原駐地へ歸還したのである。

わが軍が長沙を占領後、直ちに撤退したのに對し、敵及び英米系の通信は、日本軍が長沙で大敗したと馬鹿氣な宣傳を行つてゐる。既にわが軍は支那事變處理上必要とする樞要地點を十分獲得してゐるので地點の占領よりも、敵戦力の撃滅を導く目標として作戦を行ひつゝあるのである。

この作戦間に珍らしく敵のS・B爆撃機十一機が、わが軍に襲來したが、その一機は宜昌附近に着陸して、わ

が軍に整々と降順を申出たのはわが方も驚いた。

南支方面

廣東北方方面にある敵第七戦區余漢謀軍は、その後専ら日本軍の動靜偵知に努めてゐる模様である。

敵の第四戦區、佛印國境方面の支那軍は、盛んに國境方面及び沿岸に陣地を構築し、道路を破壊し、日本軍の進攻作戦を憂慮して、防備に汲々としてゐる有様である。

雲南、貴州方面では、英米支共同防衛についでゐるの諷説が流布されてゐる模様である。重慶唯一の海外接濟路であるビルマ道路の防備に日夜苦心してゐることは事實で、貴陽方面から一部の兵力をこの方面に増加してゐる。

むすび

以上、北中、南支に亘る戦況の概況を述べたが、各地區共に今なほ戦ひは酷いであるとの感が深い。そして、敵の戦力が年一年と低下してゆくことが、はつきりと分る。敵の戦力低下の原因は、わが不撓不屈の掃蕩戦によること

は勿論であるが、一方においては、わが經濟封鎖戦による物資の缺乏にある。

われわれはいよいよ必勝の信念を固めて抗日勢力の潰滅を見るまで戦ひ抜かねばならない。東亞新秩序建設のために活躍する將兵の武運長久を祈らなければならぬ。

寫眞週報

- ☆西南アジア騒然たり
ウクライナの進軍とともに、コーカサス戦が復燃され、西南アジア諸國の態度は一層と緊張して来た。
- ① 西南アジアの現勢(地圖)と政治的形勢(記事)
- ② トルコ、イラン、イラク、パレスチナ、シリアの紹介
- ③ 昔聞のイラン(記事)
- ☆五萬人の機甲訓練——東京青年團
- ☆國策紙芝居の先生養成——大阪市
- ☆銃後をあつかる女性訓練——大分県
- ☆交通の臨戦態勢(時局解説)
- ☆汽笛一歴七十年(鐵道七十年)
- ☆生活と歴史(記事)
- ☆防空紙芝居
- ☆時局マンガ
- その他

日五十月十
錢十價定

支那方面艦隊の戦況 (九月中)

大本營海軍報道部

航空部隊

福建省沿岸に活躍する航空部隊は、陸海軍部隊の福州方面からの轉進作戦に協力し、一日、福州、三都、福清方面に蠢動する敵第七師と第八十師の集團部隊に銃爆撃を加へ、いづれも甚大な損害を與へた。二日には引續き同方面を早朝から夕刻まで連續爆撃し、三日もまた終日福州以東の閩江北岸と沿道要地の敵據點を銃爆撃し、更に福州と馬尾に近接する敵を捕捉爆撃した。四日には福州、馬尾、川石島對岸及び三都島對岸方面の偵察並びに攻撃を行つた。

艦艇及び陸戦隊

十八日、湖南作戦の開始と共に嚴慶山、營田、磊石山における敵部隊及び陣地を爆撃して多大の損害を與へ、また二十四日には、午前と午後三回に亘り錫江口附近の敵陣地を爆撃し、二十五日、二十六日の兩日は斗米嘴周辺の敵野砲陣地を攻撃、二十八日は斗米嘴及び烏龍嘴の敵據點の軍事施設等を爆撃して甚大な損害を與へた。

艦艇はいづれも擔任海面と水域において、封鎖、臨検、水路調査、啓開及び確保に任じ、海岸及び水路による接濟行爲を杜絶し、隨所に陸戦隊を揚陸して沿岸部落の治安維

持をはかり、また舟山列島及び海南島をはじめ各地における警備地区内の復興建設、産業開墾に貢献すること多大であつた。三日、福州からの轉進に當つては、海軍航空部隊の協力下に陸軍部隊と共に一兵を損することなく撤収を完了した。この間、陸戦隊は北支において二日、青島北方の泰和村方面に出撃して戦果を収め、また七日には山東半島北部の温泉城西南方面において移動中の敵軍約三百を捕獲攻撃し、また、連雲港方面では九日十日の兩日、連雲港北方の雲臺山南麓に揚陸、附近一帯を掃蕩して治安肅正をはかつた。中支方面地区の揚子江下流地帯における砲艇隊は、十一日から十四日まで北太湖々上の特別警備に任ずる一方、陸軍の掃蕩戦に協力し、十四日には平湖附近において有力な敵と交戦して多大の損害を與へて潰走させた。海南島における陸戦隊は約三十回の掃蕩戦に出撃、多数の武器弾薬を擧獲した。

湖南方面戦況 揚子江艦艇の有力な一部隊は、十七日夜半から行動を起し、陸軍輸送船團を護衛誘導しつつ洞庭湖を横断し、十八日午前七時二十分には陸戦隊の一部を

には夾口水路の啓開、營田前面の機雷の掃蕩を完了、二十六日には營田上流二キロの地點に到達し、二十八日には營田上流斗米嘴に至る十キロの水路を啓開した。

廣東方面戦況 廣東方面における有力な海軍部隊は、その一部をもつて西江通航戦を開始し、また他の艦艇は二十日早朝、陸軍部隊の廣海海岸の敵前上陸を支援し、二十一日には陸軍部隊を側面から援護した。湘江遊撃部隊は水路の啓開に従事する一方、陸軍部隊に協力して二十三日には新昌を確保、二十四日には赤塘埠に進出した。北江遊撃部隊は陸軍部隊に協力して、二十七日には清遠下流十里までの水路啓開に成功、廣海方面に進撃した艦艇は、二十四日敵武装大型ジャンク九隻と敵陸上部隊に猛烈な銃砲撃を加へ、殲滅的な打撃を與へた。

封鎖部隊

航行遮断に従事する艦艇は、揚子江下流及び浙東沿岸で二万三千七百七十八隻、黄浦江上で二万六千九百四隻のジャンクと機動船を臨検し、利敵物資の抑止に多大の効果を収

蝦湖山に揚陸してこれを占領した。この間、湖上の艦艇は陸軍部隊の青山占領及びその東方の嚴廖山における掃蕩戦に呼應し、敗走する敵を砲撃撃破した。十九日には艦艇は陸軍部隊の作戦に協力、湘江下流で敵機雷七箇を處分し、同日午後には磊石山を占領、また、陸戦隊の一部は陸軍部隊と協力して鹿角及び九馬嘴を占領した。

二十日、艦艇は主として青山南方の橫嶺湖方面の攻撃に任じ、二十一日には營田下流二キロの敵山砲陣地を砲撃撃破した。また磊石山前面における敵機雷五十七箇と大防材を爆破して水路啓開に成功した。一方、陸戦隊は陸軍部隊の瀟林潭攻略に呼應して附近の敵陣地を覆滅した。艦艇は洞庭湖の東南岸沖に進撃し、湘江江口の敵要地を相次で攻略、水路啓開隊の一部は二十二日既に湘江を通航、その一部隊は磊石山南方の水路偵察を強行し、二十三日には磊石山の上流四キロに至る水路啓開を完了して、平江河から救家湖を経て河泊潭までの掃海作業に従事した。一方、瀟林潭方面において陸軍部隊の進撃に協力し、二十四日午前中には白魚磯を、同日午後には營田を占領した。また二十五日

めた。なほ、北支方面では三千四百隻のジャンクを臨検、敵性のもの七十九隻を處分した。九月中に處分した敵機雷数は、湘江で百十五箇、南支方面で七百三箇、計八百十八箇、そのほか湖南作戦で百一箇であつた。

教學局編纂
「教育に関する勅語換發
五十年記念資料展覧圖録」
昨年十月三十日教育勅語換發五十年を迎ふるに當り、教學局ではこれを記念いたしまして、文部省内に教育勅語換發に關係ある諸資料の展覧を行ひました。本書はこの展覧會に出品の幾多の貴重な資料を寫眞版として集録したものに、詳細な解説を加へて教育者は勿論、廣く國民をして聖訓奉體の一助となさんかため編纂されたもので、明治天皇が如何に國民教育の大本について御珍念遊ばされたかを拜察し奉る唯一の圖録であります。
定價一圓五十錢(送料内地十錢)内閣印刷局直賣所 各地官報販賣所及び書店等で販賣して居ります。
内閣印刷局發行
東京市神田區大塚
振替東京一九〇〇〇

生活必需品讀本

9

いよ／＼寒さに向つて、どの家庭でもこれから炭の御厄介になる季節になりました。炭は肌こそ黒く、色は白い米とともに私達の日常生活になくはならぬものです。ところで、炭はどうして作るのてせうか、また、どんな道順で私達の家庭に配給されるのてせうか。これから簡潔にお話しませう。

炭

炭が出来るまで

炭を作るには、まづ土や石で竈を築き、この中にカシ、ナラ、クヌギ、マツその他の雑木を縦につめこみ、狭い入口から火をつけ、燃え始めたら入口を狭く閉いで、空気が餘り入らぬやうにし、二日

か三日の間不完全に燃えさせると炭素だけが残つて炭が出来ます。炭には黒炭と白炭の二種類があります。これは火の消し方によつて出来るもので、黒炭(軟炭)は竈の中で木が焼けて炭になつた頃、竈の入口と煙出口とを閉めきつて、二日か三日の間そのまゝにして、かまの中で消火させて作り、また白炭(硬炭)は、竈の中で燃えて白熱状態になつてゐる炭を少しづ

つ竈の外にかき出し、それに濕つた灰のまざつた土や砂をかけて、急に冷して作るのです。全国の生産高からいひますと、大體黒炭と白炭は半々に作られてゐますが、今まで黒炭は主に關東方面で使はれ、關西方面では白炭を好んで使ひました。

かうして出来た炭は品を揃へて、黒炭なら十五キロ(四貫)、白炭なら二十キロ(五貫三百匁)のカヤやワラの必依につめますが、中には三十キロ(八貫)や三十七キロ(十貫)のものもあります。依に入つた炭は縣の検査を受けて、消費地へ送り出されます。

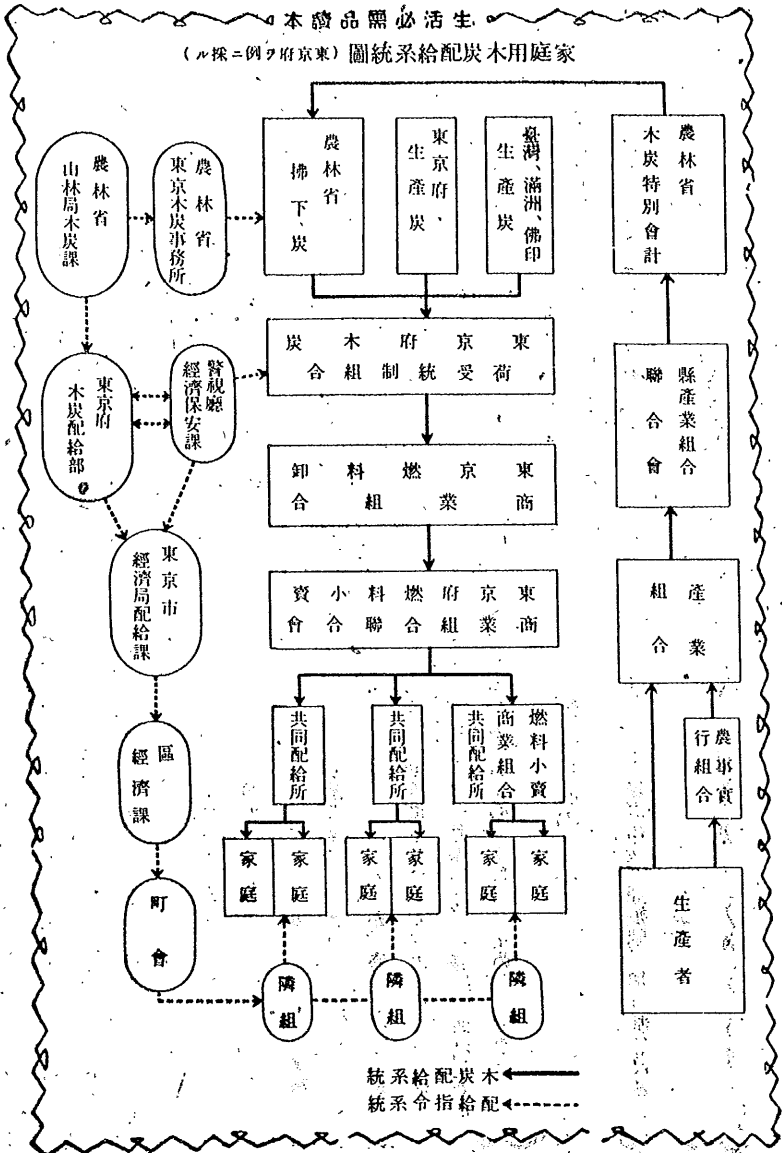
山元から家庭まで

日本で炭の澤山できる主な縣は、北の方から申しますと、北海道・岩手・福島・長野・岐阜・島根・高知・宮崎・鹿児島等です。

まづ炭焼の人々が作つた炭は、その人達が加入して

る農事實行組合とか産業組合に集荷され、農事實行組合からは産業組合に、産業組合からは縣販賣組合(縣聯合)に集荷されます。縣聯合では、集荷した炭を縣の計畫に従つて縣内の消費にあてる分と縣外に出す分とに分け、縣内で使ふ分は木炭商業組合聯合會から商業組合を通じて各消費者に配給させ、また、縣外に出す分は全部農林省の特別會計へ供出されます。農林省のものとなつた炭は、汽車や船で生産地から消費地へ運ばれます。消費地に着いた炭は、農林省から木炭荷受統制組合に拂下され、それから府縣の計畫に従つて木炭卸商業組合、木炭小賣商業組合聯合會を通じて木炭小賣商業組合の共同配給所に行き、こゝから各家庭に配給されるわけです。

尤も、右の配給の道順は、家庭用の普通の木炭の例ですから、府縣によつては、これとはまた違つた道順を通る所もあるわけです。



配給統制をやるわけ

今まで木炭は、何の苦勞もなく欲しいだけ自由に買へたのですが、今では買へる量もすつかり決められ、買ふにしても一々通帳に登録したり、切符と引換へねば買へません。では、なぜかうした配給の統制をやらねばならないのでせうか。

今まで炭は殆んど家庭の採暖用と炊事用に使はれてゐたのに過ぎなかつたのですが、事變が始つてからは鐵の製造に使ふ炭、人絹製造に必要な二硫化炭素の原料、ガスマスクに必要な活性炭の原料といつたやうに、工業用炭が急に増え、また、木炭自動車に使はれるガス用炭も今までの何十倍にも増え、それに家庭用炭も、ガスが不便になる、石炭は足りない、電熱は使へないといふことから炭がこれに代り、炭は各方面からひつ張り風となつて、いくら増産しても追いつかぬ

配給統制の方法

それでは、この家庭用炭の通帳制、切符制等ほどのやうに動かされてゐるのでせうか。

ことになつたのです。そして、昭和十四年の夏から秋にかけて全国各地に炭飢饉の聲が起り、生産地では炭の移出を禁止しましたので、消費地には少しも炭が入らなくなりました。

そこで、農林省では昭和十五年度から、直接に産地で木炭を買入れ、消費地で賣渡すことにしました。最初の頃はなかくうまくゆきませんでしたが、次第に順調になり、主な消費地では、この拂下炭で冬を越せる見透しもつきました。ところが、資材や勞力の關係から、今までのやうに十分に使ふ程には生産できませんので、十五年の十一月以後は、各府縣で通帳制や切符制を實行して自由勝手な取引を止めたのです。

まづ農林省では、過去数十年間の平均気温、煉炭、豆炭等の炭の代用品の普及状況、人口の分布状況などの標準によつて、各道府県別に一年間の家庭用炭の消費標準量をきめ、各道府県ではこれに従つて市町村毎の家庭用炭の配給割当量をきめるのですが、特に大きな消費都市では、各家庭の（イ）ガス設備の有無（ロ）家族の人数（ハ）世帯の三つの標準で各家庭への一年間の配給割当量をきめ、その中の約三割を夏分に、約七割を冬分に配給するやうにして毎月の配給割当量をきめ、各配給所ではこの数量に従つて家庭に配るわけです。

一方、市役所では家庭用炭の配給通帳を發行し、區役所で各家庭への毎月の配給割当量を記入して、町會隣組を通じて各家庭に配りますから、各家庭では炭の配給を受けたら、その度に通帳に數量と金額の記入を受け、配給員の印を捺してもらひ、配給員の持つて来る受取證に印を捺すわけです。特に子供が生れたと

か、病人が出来たとか、赤ん坊があるとか、老人があるとか、また、家族の人数が増えたとか世帯が増したために、毎月の配給割當の炭ではどうしてもやつてゆけぬ場合には、その旨を隣組長、町會長を通じて區役所に申し出て下さい。このやうな場合のために特別配給用の炭がちゃんとありますから、區役所で交付する特別の切符で特配を受けることが出来ます。

さて、炭の配給は、今年度からは各家庭への一年間の配給割當量を決めておいて、それを月にならして配ることになつてゐますから、或る月に配給される炭がたとへその月には要らなくても、その月に配給を受けぬと、あとで追加してもらふことは出来ません。農林省としても勿論、各家庭で實際に炭を使ふ時に炭を配りたいのは山々ですが、何分にも炭を蓄めておく倉庫も不足してゐますし、また、倉庫に蓄めておくとき非常に費用がかかり、従つて各家庭に迷惑をかけることに

もなりませんし、冬になると輸送や配給が困難になりますので、さうならぬうちに出来るだけ配給してしまふわけです。各家庭でも農林省のやり方に協力し、自分で使ふ炭は自分で蓄めておいていただきたいのです。

何故節約せねばならぬか

炭を使ふには、一にも二にも節約を旨とせねばなりません。

炭を作るには山の木を澤山伐らねばなりません、日本が世界で有数の森林國であつても、毎年伐り倒す量には限りがあつて、これを越えて伐り過ぎますと、次第に山が荒れて恐ろしい水害や山崩れなどを起すばかりでなく、美しい日本の國土が森林の育たない不毛の山野となつてしまひます。この木は材木として時局下非常に重要な用途をもつてゐるばかりでなく、炭にすれば半分ぐらゐは次になつてしまふのです。また、炭焼の人々は時局柄、米、味噌、醤油、酒なども十分

には手に入らず、不便な山の中で雨露を凌ぐだけの小屋に住んで、汗水たらして木炭報國に精進してゐるのです。この大切な山の木を使つて苦勞して焼いてもらった炭ですから、私達は一片の炭でも大切に使はねばなりません。

むすび

これから炭の供給はますます窮屈になることでは、これを切抜けるには生産者と配給業者と消費者とが農林省の計畫に基づいて協力することが大切です。生産者はいろ／＼な艱難を押し切つて、計畫通りの數量を確保せねばなりません。配給業者は今までの個人的な營利觀念を離れて、新しい商道の實踐に勵まねばなりません。家庭の私達も木炭國策に則つて炭を大切に使はねばなりません。そして、お互ひが不自由を分け合ひながら、この未曾有の難局を乗り切つてゆく方ではありませんか。

農林省



告知板

差出人の居所氏名も明記

新しい取締りができました

臨時郵便取締令が施行され、十月二十日から外国宛の郵便物には、暗号や私製葉書は使へなくなり、また、国内郵便でも、外国宛郵便でも、受取人や差出人の居所氏名を、はつきり書かなければならなくなりました。そこで、今後皆さまに注意していただかなければならない点を、かんたんにお知らせ致します。

記したことが分ると處罰されます。

差出人の居所氏名も

今後は郵便物は、国内、外国宛いづれの場合も、一樣に受取人の居所氏名のか、に、差出人の居所氏名もはつきり(差出人に居せる程度に)書いて下さい。従つてこれからは「神田にてOK生」などと書くことは絶対に禁物です。またわざと、その居所氏名を

外国宛ての郵便物

◇暗号、私製ハガキ等の禁止
外国宛ての場合には、暗号とか隠語(例へば山といへば川を意味するやうに、ふつうの言葉を全く異つた意味に使ふもの)、或ひは秘密インキ、秘密の通信方法、盲人用點字、私製葉書(繪葉書

や印刷した挨拶状といったやうな官製葉書以外のもの)、二重封筒(一般に使はれてゐる日本封筒のやうに裏打したもの)を指し、ふつうのハトロン紙でつくつた封筒のやうに一重のものなら、各別に封をして内装すれば二枚使つてもよい)を使用することは禁じられました。若しもこれに違反すると、千圓以下の罰金に處されます。しかし、満洲國と中華民國へ出す場合に限つて私製葉書でも差支へありません。また軍事郵便と上書して満洲國、中華民國、佛印等に出征または駐屯してゐる陸海軍將兵へ出す軍事郵便物は、今まで通りでよろしいのです。

◇内容の検閲
また外国郵便物は封書であつても原則として中味を調べられることに

なりました。従つて國防保安法や軍機保護法、軍用資源秘密保護法などに觸れるやうなことが書いてあるとか、外國爲替管理法に違反して爲替證書等が封入してありますと、これらの法令で罰せられます。

なほ、直接通信文の問題ではありませんが、關東州、滿洲國、支那、蒙古方面に宛てる爲替は、外國爲替管理法によつて原則として二年二百圓までと限られてゐますから、郵便物の中から、もしもこの制限以上の金額の小爲替が見つかりますと、爲替管理法違反として嚴罰されますから、くれぐれも注意して下さい。もつとも大蔵大臣の許可があれば、この制限額以上の爲替も組めることになつてゐます。この場合は爲替を組んだ郵便局で爲替證書にその旨を

證明することになつてをります。

このほか内容が國防上の利益を害したり、害する心配がある場合、或ひは差出人に説明を求めても何が書いてあるが明らかでない場合には、送達を停止されますから、手紙を書くときには、わが國の不利益なことは書かないことは勿論、文面は一目で分るやうに具體的に述べるやうに注意して下さい。

なほ郵便官署で検閲したときは、所定の封紙で再封します(當分は適當の紙で再封、所定の印を押します)

以上の検閲は、主として外國郵便に行ふのですが、内國郵便物でも外國から傳達され、または外國に傳達する通信、畫、寫真等を包有してゐる疑のあるものは、例外的に検閲されますが、封紙した内國書状や葉書は右

以外には絶対に検閲されません。

◇郵便局の窓口へ
滿洲國と中華民國以外の外國宛の郵便物は、これまでのやうにポストに入らずに、郵便物に切手をそへて郵便局(従來の無集配三等局は原則として取扱ひません)の窓口にお出し下さい。この場合切手が貼つてあると受け付けてくれません。しかし官製の外國郵便葉書(切手を貼る必要のないもの)の場合は、すぐポストに入れて差支へありません。

◇内容がすぐ言へるやうに

國內、國外を問はず、郵便物の差出人または受取人は、郵便官署から聞かれた場合には、すぐに譯文を出さず、か、その他適當な方法で中味を説明したり、差出人や受取人の眞偽に關し證明などをしなければなら

告知板

らなくなりまして。この場合にも
ろ、を言ふと處罰されます。

振替、爲替の通信文制限

今まで自由だった振替、爲替の用紙
に記載する通信文が、やつぱり二十日
から取縮されることになりました。
これは、今までのやうに振替、爲替
の用紙に自由に通信文が書けると、外
國の諜報網に利用されたり、通信文に
よつて不用意の間に國防上の秘密が外
國に洩れることを防ぐ目的から、こ
んど取縮されることになったのです。
従つて、今後は外國との間の爲替
や振替關係のものに限つて、次ぎの
やうな方法で取縮されます。

◇日本から發送のもの

一、通信文の用語は日本語、滿洲語、

中國語、ドイツ語、英語、フラン
ス語またはスペイン語の普通語を
使ふこと。

一、内容は送金の目的と、差出人受取
人の宿所氏名、日附だけ書くこと。

◇外國からのもの

一、國防上有害と認められる通信
文、内容不明の通信文は受取人に
傳達せず、通信文を削つたものを

北支に振替が

きくやうになりました

こんど選信省と北京郵政總局との
間に申合せができ、十月一日から北
支へ振替がきくやうになり、日支提
携の明らかな話題がまたふえました。

すなはち北支側では、この申合せ
によつて、北京、天津、天津吉野街、
石門、保定、唐山、塘沽、濟南、青
島、芝罘、太原、開封、新郷、徐州

の十四局を指定して一日から業務を
開始してゐますから、これからは日
本側からは國內と同じ手続きで送金
できるわけです。もつとも、電信を
利用する各種の取扱は認められてゐ
ません。

一方、北支側は、この十四局の窓を
通せば、内地の口座に拂込みも、口
座加入もできるといふ便利さです。
また、これまで北支への送金は、

五百圓までの電信爲替、四百圓まで
の通常爲替、五十圓までの小爲替に
限られてゐたのですが、こんどは内
地からは一日三千圓、この場合外國
爲替管理法によつて大藏大臣の許可が要
ることは勿論です。北支からも同様に
爲替送金額が引き上げられました。
なほ中、南支へは、目下のところ
これまで通り四百圓までの通常爲替
に限られてゐます。



國民學校生徒さんに
冬服が配給されます

「寒さを迎へても元氣で勉強して
下さ」と、少國民の皆さんに、暖
かくて丈夫な小倉の冬服を近く公定

價で配給することになりました。
この服地は綿三割混紡の國防色の
もので、商工省が苦心して業者につ

くらせたものですから、國民學校の
生徒さんに喜ばれることはうけ合ひ
です。だいたい六人に一人ぐらゐの
割合で準備されてゐますが、今着て
ゐる服で間に合ふ方はできるだけ我
慢して、古くなつて困つてゐる人に
廻すやうにして下さい。

買ひたい方は、校長先生の證明書
をデパートや小賣店にもつてゆけば
賣つてくれます。値段は次ぎの通
りです。(二號から五號までは初等科用
六七號は高等科用となつてゐます。)

- 冬物長ズボン附上下
- 二號六・八五 三號七・二〇
- 四號七・六〇 五號八・〇〇
- 六號八・四五 七號八・九〇
- 冬物半ズボン附上下揃
- 二號六・一五 三號六・五〇
- 四號六・九〇 五號七・一五
- 六號七・六〇 七號八・〇五

手洗器及び洗面器並びに同類	剃髪用ネット	釣鐘及び鐘	電燈用ネット
手鏡	デジシメカパー	歯ブラシ	鏡像及び鏡面並びに同類
歯磨き粉	電気スタンド	電線	電線スタンプ
天球儀及び天球鉢	天針板	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電柱(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具
電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具	電線(線芯を有するセメ)及び電柱線、電線支持具

バンド及びバンド用金具	ビッチボルト金具	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)
火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)	火銃筒	火銃子(工製用又は交通機)

名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン
名刺及び傳書筒	メガホン	名刺及び傳書筒	メガホン

モスクワ三國會談とその成果

国際時事解説

會談開始までの経緯

大西洋上におけるルーズベルト・チャーチル會談の結果として、去る八月十四日、八ヶ條からなる英米共同宣言が發表され、翌十五日、英米の對ソ援助に關するモスクワ三國會談開催方のメッセージが、ルーズベルト・チャーチル兩氏から申送られて、スターリン・ソ聯首相は直ちに同意の旨を通達した。

しかしながら、この三國會談に出席すべき使節團の決定に手間取り、米國においては九月三日、國防生産管理局資材部長でロンドン駐在武器貸與促進官のハリマン氏を團長とし、パーク少將・フレッド少將・スタンドレー

提督等からなる使節團の任命を漸く發表した。英國では、初めイーデン外相の團長就任説があつたが、九月四日にピルヴァブルック軍需相の團長説が確認されたもの、正式使節團の任命は漸く九月十五日に至つて發表され、既に英軍事使節團としてモスクワに滞在中のマクファール陸軍少將・マイルズ海軍少將・コリアー空軍少將のほか、バルフォア軍需次官・イズメー陸軍少將・マクレディ陸軍少將によつて使節團を構成することになった。

ソ聯側では更に遅れて九月十八日、モロトフ外相を主席とし、ウオロシーロフ國防相・ニコヤン貿易相・マルイシエフ工業相・クスネーツォフ海相・シャーフリン航空工業相等からなる代表團を任命發表したのである。

これら三國使節團の顔觸れを見て、各國新聞論調は、先づ一様にモスクワ三國會談の主題は政治問題ではなく、陸軍關係の物資補給問題を論議するものと評したが、米當局もそれを肯定したのである。

かくてソ聯側から再三に亘るモスクワ會談開催方督促の後、九月十一日、米大統領・國務長官と駐米ソ聯大使との時餘に及んだ會談の結果、いよいよ米使節團の出発となり、一行は九月十四日ロンドンへ立寄つたのである。ロンドン到着と共にハリマン米使節團長等は、しばしば英當局側と會談して、まづ英米兩國の對ソ援助に關する具體策を協議した。そしてハリマン米使節團長は、モスクワ會談について次ぎの通り發表したのである。

對獨戰に最後の勝利を得るために絶対に必要な物資の問題を上げる。

英軍のイラン進撃の結果、ペルシャ灣はウラジオと共に對ソ輸送の重要な輸入港となり、ソ聯は米國の物資援助に對し、當分は現金または原料物資を以て支拂に充てると言はれるが、終局において武器貸與法に基づくか否かは言はれぬ。

當會談では、英國が米國から入手した物資をソ聯に振り向けるか否かについても協議されるであらう。

なほ、それと前後して九月十七日、ジョーンズ米聯邦融資局長官は記者團との會見において、米政府は米國內にある軍需資材購入の資金としてソ聯に一億ドルを貸附けた旨を發表し、併せて、今次の對ソ貸附けは借款でなく、あくまでも貸附けである旨を強調して注目された。ついでロンドンにおける英米兩使節團は、對ソ援助策の細目に亘る意見の取纏めを了つて出發し、九月二十二日、空路ソ聯領内へ到着の旨、ソ聯政府から公表されたのである。

三回の會談で終了

かくして、八月十五日に三國會談が提議されて以來、ソ聯から再三の督促の結果、一ヶ月半を経て漸く開催の運びとなつた本會談は、ソ聯としても英米からの大きな援助を信じきらず、また、英米も對ソ援助に本腰を据ゑかねてをり、その成果は多分に危ぶまれ、或ひは英米

兩國が會談に先立つて「ソ聯の單獨不講和」をソ聯側に要求したと傳へられ、或ひはソ聯が「ドイツとの單獨講和」を切札として英米側に援助を強要したとも傳へられた。かゝる状態の下において開かれたのが、モスクワ三國會談であつた。

九月二十九日から開催された本會談は、英米ソ三國代表間に前後三回の本會談を開いたのみで、「ソ聯軍官兩當局が要求するところのものは、すべて實際的にソ聯の望むまゝに供給する」旨を英米側は約束し、ソ聯も又「英米の必要原料はこれを供給する」旨を述べ、會期の豫定より數日早く十月一日に終了し、次ぎのやうな聲明をそれぞれ發表したのである。

ソ聯側聲明「今回の三國會談は成功の裡に議事を進め、會談開催の目的に關つて重要決議を採擇し、自由を愛する諸國の共同の敵に對して最後の勝利を得んとする三國間に完全なる意見の一致を見、緊密な協力が約された。」

英米兩代表聲明「今次會談の各代表は、摺軸働勢力打倒に職ひつゝあるソ聯に對し、英米兩國より與へるべき必要な援

助及びソ聯内の利用し得べき資源につき、英ソ兩國の生産力と腕み合せて検討を行ひ、左の二點を取極めた。

- 一、英米はソ聯の軍官兩當局の如何なる要求にも應ずる。
- 二、ソ聯側は、英米兩國において痛切に必要を感ずる原料品を大量に供給する。また今次會談において輸送施設につき十分の検討が加へられ、あらゆる方面において輸送量を増大せしむべき計畫が樹立された。

實質的影響なし（獨の觀測）

ドイツ當局は、モスクワ會談の成行に重大關心をもつてゐたが、半官筋では英米側の鳴物入りの宣傳を冷笑し、九月三十日つぎの見解をもちた。

「モスクワ會談の意義はその誇大な宣傳にもかかわらず、實質的には次ぎの如き理由により何等重大な意義を有するものではない。

- 一、ソ聯軍備の損失は從來まで既に一年間の生産額に匹敵するものと見られてゐるが、如何に英米側がその穴埋めに躍起となつても、精々その一部を補充するに過ぎない。
- 二、對ソ物資補給の途は極めて制限され、北氷洋經由の途は

冬季には全く利用不可能であり、ウラジオストクも實際的には問題とならぬ。

一、ソ聯兵力の英米による補充もまた極めて困難で、援軍の派遣について早くも英紙は反対の意向を表明してゐるではないか。

ついで會談終了に對しドイツ當局は、會談の結果は英米側とソ聯との間に重大な意見の懸隔があることを暴露したとして、その成果がドイツの對ソ作戰に實質的な影響を與へることはあり得ぬと觀測し、右に關聯し獨外務當局は十月二日つぎの聲明を行つた。

「モスクワ會談の結果は、如何にしてソ聯を援助するかといふ問題が全く解決されず宙に迷つてゐることを全世界に暴露した。モロトフ・ソ聯外相が飛行機に乗るに至るまで要求してゐる一方、ハリマン米代表がソ聯の有する資源を最大限に利用せねばならぬと主張してゐるのは、この間の事情を物語るものと言へよう。」

援ソ物資の輸送能力

しかしながら、ソ聯が目下火急に必要なものは戦闘機であるといはれてをり、モスクワ會談に先立ちソ聯側は、ウーマンスキー駐米大使をして米政府に戦闘機の發送を求めさせ、マイスキー駐英大使をしてブラバゾン英航空機製産相に同様の要求をさせたと傳へられるが、その輸送方法が難問題となつてゐるのである。

すなはち、英本土からアルハンゲルスク方面までは海上約一千八百哩もあり、イラン經由で送るとすれば、南阿の喜望峯廻りで海上一万五千哩を輸送せねばならぬ。戦闘機を解體し箱詰めにして輸送するとしても、大體に五千噸級の船で彈藥その他の附屬品を入れて精々二十機分ぐらゐしか運ばれないといはれるから、假りに一千機を送るとすれば、五十隻の船舶を要するわけで、船腹不足に悩んでゐる英米側として、それを實行するのは容易なことではない。しかも、ソ聯にはオクタン價の高いガソリンが缺乏してをり、従つてそのガソリンは勿論、操縦者・陸上勤務員・機體部分品・機銃彈・砲彈・擲彈等も一切英米側から持参しなければならぬ。その他の戦争

これよりさき、獨ソ開戦以來モスクワに滞在し、英ソ通商協定を締結して歸國した英國經濟使節團長キャドブリー氏は、十月二日、對ソ援助物資の輸送状況について次ぎの通り記者團に語つた。

「現在、ソ聯には相當量の物資が流入してゐるが、將來起り得る困難は、ソ聯に必要な物資の獲得如何ではなく、主として輸送の困難といふ問題である。

對ソ物資援助の輸送路としては三つあるが、シベリア經由路が最も輸送能力が多い。不凍港のウラジオストクは、大量の輸送物資を收容することが出来る。次にアルハンゲルスク經由の北方路及びベルシャツク灣イラン經由の南方路であるが、この兩路とも現在まで種々の大きな困難を伴ひ、それらの改善に多大の努力が拂はれ、その結果、最近大擲送船團が著るしく短時間でアルハンゲルスク港に物資を輸送することが出来た。

なほ、英ソ通商協定により、英國からは主としてゴム・錫・鉛・羊毛・黃麻・布類を、ソ聯からはマグネサイト・クロム・各種化學藥劑を、それ／＼供給することになった。」

器材についても、程度の差こそあれ殆んど同様の状態にあるといはれてゐる。

すなはち、英米側の政治的意圖の曖昧な對ソ態度は別としても、上述のやうな英米の援助能力、殊に輸送能力等の點から見ても、モスクワ會談で取極められたものの實行上には相當の困難があり、従つて英米對ソの連繫はモスクワ會談後も依然としてソ聯の對獨抗戰如何と獨ソ戦局の推移にかゝつてゐるのである。

一方、レニングラードは既に包圍され、南部地方もドイツ軍の進出に大勢を制せられるに至つたため、ソ聯の工業生産力の大部分を占める地域は潰滅に瀕しつゝあり、従つて今日のソ聯としては最早英米側からの援助のみでは、それらの補充は到底不可能とされ、問題は大打撃を蒙りつゝあるソ聯軍が、今後幾多の困難を前に、どの程度まで指揮と統制を保ち得るかにあり、英米の援助よりも、むしろこれによつて獨ソ戦の前途が決定されるものと見られるに至つたのである。

週報發刊五周年に際して

局から發行されたもの
でしたが、間もなく獨
立し、こゝに滿五年、

化と共に、この「週報」の使命もい
よいよ重且つ大となつて來ました。
私どもは、この「週報」によりよき

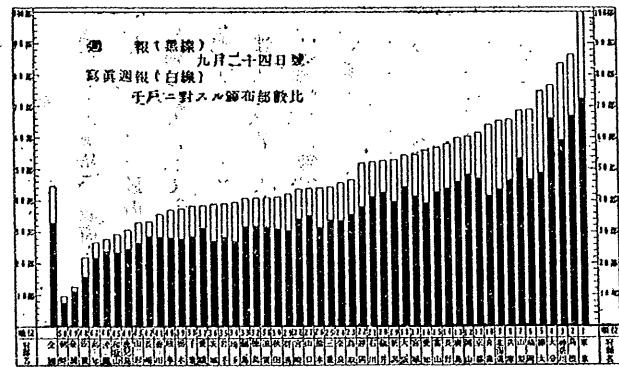
「政府の行はうとする政策の内容
や意圖を廣く一般國民に傳へてその
正しい理解を求め、公正な輿論の聲を
聞き、また法令の趣旨や内容の普及
を圖り、その他政府の各種機關によ
つて得られる内外の情勢、經濟學術
技藝等に關する資料を公表して、政
府と一般國民との接觸を緊密にし
公明な政治の遂行に寄與しよう」とす
るものである。」

かういふ刊行の趣旨の下に、緑の
「週報」が發刊されたのは、丁度五年
前の昭和十一年十月十四日でした。
當初は「官報附録週報」として、時
の情報委員會で編輯され、内閣印刷

號數も二百六十二號を數へるに至り
ました。

發行部數も、當初の十萬餘から現在
の七十數萬部に飛躍し、特輯號の如き
は、「新體制早わかり」の百八萬部、
次いで、最近の「家庭防空の手引」な
どは二百萬部の新記録を作りました
が、なほ一般の要望に應へることが
出來ない位でした。これは時局のせ
いもありませうが、諸君諸賢の御支
援の賜もでもあると考へます。

この間、編輯の衝に當つてをりま
す情報委員會は、内閣情報部に、更
に昨年十二月六日には舊帝劇に移つ
て情報局に發展し、内外情勢の緊迫



内容を盛り、廣く國民の間に普及さ
せ、國家の向はんとするところを國
民の間に浸透させて、時艱克服の原
動力たらしめんことを願つて、絶え
ざる努力を続けてゐるわけであり
ますが、この五周年に際して、更に
一段の前進を期さうとしてゐます。

く、その内容が理解され、生かされ
て、國民生活における國家的活動の
原動力にならねばならないと思ひま
す。その意味で、週報が時局の指針
として活用され、文字通り「民一億
の回覽板」としての役割を果したい
と思ひます。

の工夫をこらす一方、讀者欄ともい
ふべき「通風塔」、政府からの「告知
板」等を新設し、政府と國民との紐帯
を強めようとしてをります。讀者諸
賢におかれましても、「週報」並びに
姉妹誌「寫眞週報」に對して、今後一
段の御鞭撻と御協力を切にお願ひ
致します。

讀者頁新設

「通風塔」に皆さんの
寄稿をお願いします

週報創刊五周年を迎へ、さらに皆さん
方との結び付きを緊密にするため、次號
を期してあらたに「通風塔」を新設するこ
とになりました。廣く讀者諸君の御協力
を願ひます。

寄稿は政治、經濟、文化その他あらゆる

る問題についての意見、感想等何でも結
好ですが、たゞ、眞面目なものを希望し
ます。要するに、眞剣な二億の聲を寄
せて下さい。問題によつては、こちらか
らお答へもしたいと思つてをります。

なほ、限られた誌面で掲載し切れない
場合も多いと思ひますから、その點は豫し
め御含みおき下さい。しかし掲載しない
分でも、政府その他に對する眞面目な希
望などは、それ／＼關係方面へ傳達して、
今後の施政、施策に參考とするやうに取
扱ひます。

計らひたいと考へてをります。

投稿規定

- 一、長さは、四百字以内
- 一、特別にメッキリは設けません、到着
の分から適宜掲載します
- 一、原稿は一切返却致しません
- 一、誌上の署名は隨意ですが、原稿には
必ず住所氏名を記して下さい
- 一、送り先、東京市麹町區丸の内情報局
週報編輯室「通風塔」掛

支那事變債券と報國債券の當籤番號は毎月
中旬から下旬にかけての週報で発表します
から御利用下さい。

支那事變債券と報國債券の當籤番號は毎月
中旬から下旬にかけての週報で発表します
から御利用下さい。

支那事變債券と報國債券の當籤番號は毎月
中旬から下旬にかけての週報で発表します
から御利用下さい。

支那事變債券と報國債券の當籤番號は毎月
中旬から下旬にかけての週報で発表します
から御利用下さい。

週報

昭和十六年十月十五日

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

印刷局
東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

日本精神叢書

教學局編纂

- ◇ 歴代の詔勅
- ◇ 古事記と盛國の精神
- ◇ 聖徳太子と日本文化
- ◇ 神樂・神歌
- ◇ 十訓抄と道徳思想
- ◇ 親鸞と日本佛教
- ◇ 日本精神歌集
- ◇ 翁問答と日本教育論
- ◇ 心學精粹
- ◇ 吉田松陰の留魂錄
- ◇ 萬葉集と忠君愛國
- ◇ 謡曲と日本精神
- ◇ 二宮翁夜話の精神
- ◇ 庭園と日本精神

- ◇ 頼山陽と日本精神
- ◇ 祝詞と國民精神
- ◇ 神道大意
- ◇ 世阿彌と其の藝術思想
- ◇ 傳教・弘法と日本文化
- ◇ 山鹿素行の配所殘筆
- ◇ 徒然草と人生觀
- ◇ 中臣敏と民族精神
- ◇ 萬葉集と國民性
- ◇ 武藏五輪書と劍道の精神
- ◇ 聖徳太子の十七條憲法
- ◇ 戦記物語と日本精神
- ◇ 爐邊閑想
- ◇ 道元と日本の禪
- ◇ 芭蕉と俳諧の精神
- ◇ 風土記と古代日本
- ◇ 日蓮と日本の佛教
- ◇ 大佛師運慶
- ◇ 萬葉精神
- ◇ 漢詩と日本精神
- ◇ 日本書紀と日本精神
- ◇ 菅家道誠と和魂漢才
- ◇ 奈良時代に於ける國家と佛教

- ◇ 太平記と武士道
- ◇ 古語拾遺と神國日本精神
- ◇ 長谷川昭道の皇道述義
- ◇ 太神宮參詣記と敬神尊皇
- ◇ 幕末勤皇歌人集
- ◇ 國學と玉だすき
- ◇ 三經義疏と日本佛教
- ◇ 直尾鑿一神の道とやまと心
- ◇ 創學校啓一國學の建設
- ◇ 日本書道と日本精神
- ◇ 新撰姓氏錄と上代氏族史
- ◇ 弘道館記と其の述義
- ◇ 日本建築の特性
- ◇ 法然と日本文化
- ◇ 吉田松陰講孟餘話
- ◇ 橋本雪村評傳
- ◇ 日本の演劇

内閣印刷局發行

東京市神田区大塚
電話 九ノ内三三三

全國各地官報販賣所
書店等にありませす

日本郵政 郵便番号 郵便区別		郵便番号	
1	110	110	110
1	111	111	111
1	112	112	112
1	113	113	113
1	114	114	114
1	115	115	115
1	116	116	116
1	117	117	117
1	118	118	118
1	119	119	119

郵便番号		郵便番号	
110	110	110	110
111	111	111	111
112	112	112	112
113	113	113	113
114	114	114	114
115	115	115	115
116	116	116	116
117	117	117	117
118	118	118	118
119	119	119	119

露光量違いにより重複撮影

10月抽籤 奉變債券當籤番號表(其一)
支機開始期 11月1日
支機場所 當行本支店、出張所、代理店及集配郵便局
全當籤番號掲載紙 官報、債券時報發外
(番號表中大字ハ開票、括弧内金額ハ利率金)
昭和16年10月 株式 日本勧業銀行

1131	3555	3975	8438	10227	12403	13928	18344	20802	23499	26163	28001	30758	36188	38826	41484	44498
1132	3556	3976	8439	10228	12404	13929	18345	20803	23500	26164	28002	30759	36189	38827	41485	44499
1133	3557	3977	8440	10229	12405	13930	18346	20804	23501	26165	28003	30760	36190	38828	41486	44500
1134	3558	3978	8441	10230	12406	13931	18347	20805	23502	26166	28004	30761	36191	38829	41487	44501
1135	3559	3979	8442	10231	12407	13932	18348	20806	23503	26167	28005	30762	36192	38830	41488	44502
1136	3560	3980	8443	10232	12408	13933	18349	20807	23504	26168	28006	30763	36193	38831	41489	44503
1137	3561	3981	8444	10233	12409	13934	18350	20808	23505	26169	28007	30764	36194	38832	41490	44504
1138	3562	3982	8445	10234	12410	13935	18351	20809	23506	26170	28008	30765	36195	38833	41491	44505
1139	3563	3983	8446	10235	12411	13936	18352	20810	23507	26171	28009	30766	36196	38834	41492	44506
1140	3564	3984	8447	10236	12412	13937	18353	20811	23508	26172	28010	30767	36197	38835	41493	44507
1141	3565	3985	8448	10237	12413	13938	18354	20812	23509	26173	28011	30768	36198	38836	41494	44508
1142	3566	3986	8449	10238	12414	13939	18355	20813	23510	26174	28012	30769	36199	38837	41495	44509
1143	3567	3987	8450	10239	12415	13940	18356	20814	23511	26175	28013	30770	36200	38838	41496	44510
1144	3568	3988	8451	10240	12416	13941	18357	20815	23512	26176	28014	30771	36201	38839	41497	44511
1145	3569	3989	8452	10241	12417	13942	18358	20816	23513	26177	28015	30772	36202	38840	41498	44512
1146	3570	3990	8453	10242	12418	13943	18359	20817	23514	26178	28016	30773	36203	38841	41499	44513
1147	3571	3991	8454	10243	12419	13944	18360	20818	23515	26179	28017	30774	36204	38842	41500	44514
1148	3572	3992	8455	10244	12420	13945	18361	20819	23516	26180	28018	30775	36205	38843	41501	44515
1149	3573	3993	8456	10245	12421	13946	18362	20820	23517	26181	28019	30776	36206	38844	41502	44516
1150	3574	3994	8457	10246	12422	13947	18363	20821	23518	26182	28020	30777	36207	38845	41503	44517
1151	3575	3995	8458	10247	12423	13948	18364	20822	23519	26183	28021	30778	36208	38846	41504	44518
1152	3576	3996	8459	10248	12424	13949	18365	20823	23520	26184	28022	30779	36209	38847	41505	44519
1153	3577	3997	8460	10249	12425	13950	18366	20824	23521	26185	28023	30780	36210	38848	41506	44520
1154	3578	3998	8461	10250	12426	13951	18367	20825	23522	26186	28024	30781	36211	38849	41507	44521
1155	3579	3999	8462	10251	12427	13952	18368	20826	23523	26187	28025	30782	36212	38850	41508	44522
1156	3580	4000	8463	10252	12428	13953	18369	20827	23524	26188	28026	30783	36213	38851	41509	44523
1157	3581	4001	8464	10253	12429	13954	18370	20828	23525	26189	28027	30784	36214	38852	41510	44524
1158	3582	4002	8465	10254	12430	13955	18371	20829	23526	26190	28028	30785	36215	38853	41511	44525
1159	3583	4003	8466	10255	12431	13956	18372	20830	23527	26191	28029	30786	36216	38854	41512	44526
1160	3584	4004	8467	10256	12432	13957	18373	20831	23528	26192	28030	30787	36217	38855	41513	44527
1161	3585	4005	8468	10257	12433	13958	18374	20832	23529	26193	28031	30788	36218	38856	41514	44528
1162	3586	4006	8469	10258	12434	13959	18375	20833	23530	26194	28032	30789	36219	38857	41515	44529
1163	3587	4007	8470	10259	12435	13960	18376	20834	23531	26195	28033	30790	36220	38858	41516	44530
1164	3588	4008	8471	10260	12436	13961	18377	20835	23532	26196	28034	30791	36221	38859	41517	44531
1165	3589	4009	8472	10261	12437	13962	18378	20836	23533	26197	28035	30792	36222	38860	41518	44532
1166	3590	4010	8473	10262	12438	13963	18379	20837	23534	26198	28036	30793	36223	38861	41519	44533
1167	3591	4011	8474	10263	12439	13964	18380	20838	23535	26199	28037	30794	36224	38862	41520	44534
1168	3592	4012	8475	10264	12440	13965	18381	20839	23536	26200	28038	30795	36225	38863	41521	44535
1169	3593	4013	8476	10265	12441	13966	18382	20840	23537	26201	28039	30796	36226	38864	41522	44536
1170	3594	4014	8477	10266	12442	13967	18383	20841	23538	26202	28040	30797	36227	38865	41523	44537
1171	3595	4015	8478	10267	12443	13968	18384	20842	23539	26203	28041	30798	36228	38866	41524	44538
1172	3596	4016	8479	10268	12444	13969	18385	20843	23540	26204	28042	30799	36229	38867	41525	44539
1173	3597	4017	8480	10269	12445	13970	18386	20844	23541	26205	28043	30800	36230	38868	41526	44540
1174	3598	4018	8481	10270	12446	13971	18387	20845	23542	26206	28044	30801	36231	38869	41527	44541
1175	3599	4019	8482	10271	12447	13972	18388	20846	23543	26207	28045	30802	36232	38870	41528	44542
1176	3600	4020	8483	10272	12448	13973	18389	20847	23544	26208	28046	30803	36233	38871	41529	44543
1177	3601	4021	8484	10273	12449	13974	18390	20848	23545	26209	28047	30804	36234	38872	41530	44544
1178	3602	4022	8485	10274	12450	13975	18391	20849	23546	26210	28048	30805	36235	38873	41531	44545
1179	3603	4023	8486	10275	12451	13976	18392	20850	23547	26211	28049	30806	36236	38874	41532	44546
1180	3604	4024	8487	10276	12452	13977	18393	20851	23548	26212	28050	30807	36237	38875	41533	44547
1181	3605	4025	8488	10277	12453	13978	18394	20852	23549	26213	28051	30808	36238	38876	41534	44548
1182	3606	4026	8489	10278	12454	13979	18395	20853	23550	26214	28052	30809	36239	38877	41535	44549
1183	3607	4027	8490	10279	12455	13980	18396	20854	23551	26215	28053	30810	36240	38878	41536	44550
1184	3608	4028	8491	10280	12456	13981	18397	20855	23552	26216	28054	30811	36241	38879	41537	44551
1185	3609	4029	8492	10281	12457	13982	18398	20856	23553	26217	28055	30812	36242	38880	41538	44552
1186	3610	4030	8493	10282	12458	13983	18399	20857	23554	26218	28056	30813	36243	38881	41539	44553
1187	3611	4031	8494	10283	12459	13984	18400	20858	23555	26219	28057	30814	36244	38882	41540	44554
1188	3612	4032	8495	10284	12460	13985	18401	20859	23556	26220	28058	30815	36245	38883	41541	44555
1189	3613	4033	8496	10285	12461	13986	18402	20860	23557	26221	28059	30816	36246	38884	41542	44556
1190	3614	4034	8497	10286	12462	13987	18403	20861	23558	26222	28060	30817	36247	38885	41543	44557
1191	3615	4035	8498	10287	12463	13988	18404	20862	23559	26223	28061	30818	36248	38886	41544	44558
1192	3616	4036	8499	10288	12464	13989	18405	20863	23560	26224	28062	30819	36249	38887	41545	44559
1193	3617	4037	8500	10289	12465	13990	18406	20864	23561	26225	28063	30820	36250	38888	41546	44560
1194	3618	4038	8501	10290	12466	13991	18407	20865	23562	26226	28064	30821	36251	38889	41547	44561
1195	3619	4039	8502	10291	12467	13992	18408	20866	23563	26227	28065	30822	36252	38890	41548	44562
1196	3620	4040	8503	10292	12468	13993	18409	20867	23564	26228	28066	30823	36253	38891	41549	44563
1197	3621	4041	8504	10293	12469	13994	18410	20868	23565	26229	28067	30824	36254	38892	41550	44564
1198	3622	4042	8505	10294	12470	13995	18411	20869	23566	26230	28068	30825	36255	38893	41551	44565
1199	3623	4043	8506	10295	12471	13996	18412	20870	23567	26231	28069	30826	36256	38894	41552	44566
1200	3624	4044	8507	10296	12472	13997	18413	20871	23568	26232	28070	30827	36257	38895	41553	44567

週報 組隣りちつがでん圍を報週

週

報

昭和十二年十月十五日 日第三種郵便物認可 (毎週一回水曜日發行)

健康生活に
磨齒ブラック 薬用



大楠公印



粉 半煉 煉

用菌殺るせ合配に磨齒ブラック
合配 { ルーロクバルカルーロク
ルーモチドーヨ

内閣印刷局印刷發行

(判[A5]格規定國はさき大の書本)